地域総合診療科について

大　谷　　順

キーワード：内科医不足；日本プライマリ・ケア連合学会；地域の一次医療
（雲南市立病院医学雑誌　2019; 16(1): 42-43）

はじめに

総合診療科は、専門分野に特化せず、幅広い分野の診療を行う診療科の一つで、欧米では古くからGP（general practitioner）として広く認知されてきたが、わが国でも高齢化により一人で複数の疾患や合併症を抱える患者が増加してきたことも背景となり、文科省・厚労省も後押しをして、総合診療医を育てる環境が整備されるに至った。昨年度から開始された新専門医制度の中で、これまでの18領域に加わる形で19番目の専門医として公に認められる事となったことも記憶に新しい。その様な時代の流れに伴って、近年総合診療科を創設する医療機関は増えてきているが、当院でも2010年に総合診療科を創設するに至った。

地域総合診療科設立の経緯

一般的に総合診療科を担当する医師の多くが、感染症を得意とする内科医であるのに対して、当院の総合診療科は、外科医がその役を担っていたという事は、全国的にみてもほとんど例がなく、特筆すべきものであった。その背景には、2009年度に内科医がわずか２名へと減ってしまい、入院はもちろん、外来診療にまで影響が出てきたことがある。言うまでもなく内科は病院にとって屋台骨であり、内科の診療機能低下は、外科はもちろん他科にも甚大な影響を及ぼす。すなわち病院運営にとって最大級の危機として院内に暗い影を落としていた。何とか内科医不足の補完は出来ないかと考え、苦肉の策で打ち出したのが「外科医が内科医の代わりをする」、というものであった。しかしながらそのアイデアは、内科医はじめ院内からも多くの批判を浴びた。外科医が内科医の代わりをするということは「総合診療」をするという事に等しく、そもそも内科医が行うものである「総合診療」は外科医などに務まるわけがない、というものが批判のベースにあるものであったが、それに対する答えが、「地域」を総合診療科の冠に付けるというものであった（**図１**）。

決して「外科医が総合診療をしよう」などというおこがましいものではなく、あくまでも緊急回避的な一時的措置で、当面は外科医が内科を補完する体制で乗り切り、内科医が増えた時点で消滅させるという事に加え、内科疾患を外科医に診られるという患者の不安感を和らげるために「総合診療医」を名乗る必要性がある、という「地域」特有の事情である事を説明し創設への理解を求めた。

また、内科診療の質向上を目指し、総合医関連の学会（日本プライマリ・ケア連合学会）に入会、専門医取得を目指す、という事で、最終的に周囲の理解と協力を得ることができた。

活動の変遷

当初は２名の外科医が二足の草鞋を履く形で、外科と内科の診療に携わり、そのうち賛同する外科医も最大で５名まで増え、各医師の負担感は減少した。その分余裕も生まれたため学会活動の一環として、自前で総合医を育成するプログラム作りにも着手したが、今にして思えば、それが地域総合診療科最大の効用で

雲南市立病院地域総合診療科、同外科
著者連絡先：大谷　順　雲南市立病院地域総合診療科〔〒699-1221 雲南市大東町飯田96-1〕
E-mail: hospital-soumu@city.unnan.shimane.jp

あったように思う。そうした活動の中で、いわゆる「本物の」総合医との繋がりが生まれ、現在では５名の総合医（うち一人は当院の専門医プログラムの専攻医）を含む、計７名の内科医が勤務するに至った。

将来の展望

こうして、「地域総合診療科」は一定の成果を出し、その役割は終わろうとしている。しかしながら当初の約束に反することになるが、今後も継続させるつもりである。高齢化、担い手不足で機能が著しく低下しつつある地域の一次医療を補完すべく、附属掛合診療所等に活動の舞台を移して住民の健康維持、増進への関わりや、在宅医療等益々の地域貢献を果たしていく、これが地域総合診療科の次なるミッションである。

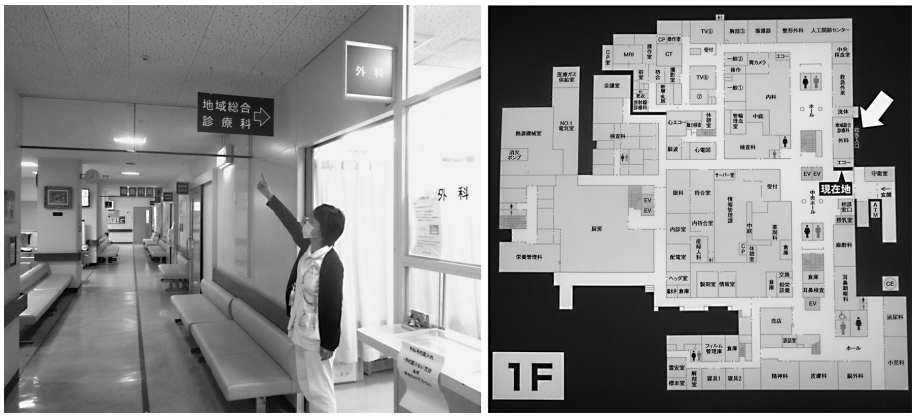

図１　外科の一角に間借りした地域総合診療科の外来：看板（左）、
１階平面図内玄関右の外科外来隣（右、矢印）

Present status and future perspective of the department of regional general medicine in Unnan City Hospital.

Jun Otani

Department of regional general medicine, Department of surgery, Unnan City Hospital
Correspondence: Jun Otani, MD, PhD, Department of regional general medicine, Unnan City Hospital〔96-1 Daito-cho Iida, Unnan, Shimane 699-1221, JAPAN〕
Telephone: 0854-47-7500 / Fax: 0854-47-7501
E-mail: hospital-soumu@city.unnan.shimane.jp